



5月全校朝会 お話

おはようございます。

新しい学年になり、初めての授業参観、家庭訪問、そして春の遠足が終わりました。順調に行事が進んでいっていますが、みなさん、どうでしょうか？

今週も大きな行事があります。水曜日に50周年記念撮影があります。

50周年の「50」と新庄北の「校章」を人文字で表し、ドローンで上空から撮影します。その撮った写真は、今「50周年記念誌」を作成していますが、その記念誌の中の写真になったり、11月21日の記念式典の時には記念品のクリアファイルの写真になったりするかと思えます。楽しみにしておいてください。

新庄北小学校の校章は、3つとがったものがありますがこれはペン先(鉛筆)を表していて「学問に励むこと」や「真理を追究する姿勢」を象徴しています。輪は「和」や「団結」を表現しており、児童たちが仲良く協力し合い、円満な人格を形成してほしいという願いが込められています。中央に「北」の文字があるのは校名である「新庄北小学校」の「北」をシンボルとしています。新庄小学校から分離をして新しく「北」に誕生した学校としての誇りと学び舎としての決意が反映されています。

新庄北小学校は50年前の1977年4月に開校しましたが、1968年に江戸時代から明治時代になり、近代国家を創るために1972年に学制が施行され、疋田のあたりも調田坐一尼古神社に「智進舎」という学校ができました。教員は何人だったと思いますか？たった1人でした。子どもは何人通っていたと思いますか？30名ほど通っていたという記録が残っています。この体育館にも「智進舎」にまつわるものがあります。体育館の前の左上に「智進」と書いたものがあります。現在のPTA広報誌の名前は「智進」といいますが、これも智進舎からとられたものです。また、北門を入れて左横にトベラの木がありますが、このトベラの木は智進舎に植えられていた木です。しかし、智進舎は3年間ぐらいいか続きませんでした。

150年前に、お隣の新庄小学校に吸収されて、疋田や東室、西室の今の新庄北小学校区の子どもたちは新庄小学校まで歩いて通っていました。それが、50年程前に、東和苑やフルールという団地ができて、子どもが増え、新庄北小学校が開校したのです。

このようにして新庄北小学校はできたのです。

